

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

令和2年(2020年)5月

## 1 東京都中央卸売市場(2020年1-4月)の青果物取扱高について

① 全体の入荷量は約60.9万tで前年並、金額は約1747億円で前年比1%増となった。

② 茨城県産の入荷量は約7.2万tで前年並、金額は約179億円で前年比14%増となった。

(金額の内訳は、野菜約152億円、果実約26億円。前年同期比で野菜17%増、果実前年並、平年同期比で野菜平年並、果実6%増。)

金額が【増加】した品目(前年対比)：キャベツ類(307%)、はくさい(245%)、こまつな(184%)、ほうれんそう(137%)

金額が【減少】した品目(前年対比)：メロン類(84%)

茨城県の青果物入荷量は平年比1%増(シェア11.8%)、取扱金額は同1%増(シェア10.2%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(4月計)			
	1~4月計	年間計	年間比	1~4月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	2020	608,834		71,721	←シェア(11.8%)		12.4%	8.9%	3.4%	
	2019	606,628	1,916,676	31.7	72,076	222,375	32.4	12.6%	7.0%	3.8%
	(前年比)	100			100	シェア(11.9%)				
	平年値※	616,871	1,954,409	31.6	71,183	227,118	31.3			
	(平年比)	99			101	シェア(11.5%)				
金額	2020	174,652		17,862	←シェア(10.2%)		7.9%	2.4%	8.6%	
	2019	173,670	534,568	32.5	15,614	52,199	29.9	7.9%	3.2%	9.0%
	(前年比)	101			114	シェア(9.0%)				
	平年値※	185,075	565,288	32.7	17,710	57,490	30.8			
	(平年比)	94			101	シェア(9.6%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は2015-2019年の5か年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》  
2019年実績  
(1-12月計)

茨城県：金額シェア(9.8%)、数量シェア(11.6%)  
千葉県：金額シェア(7.2%)、数量シェア(10.5%)  
北海道：金額シェア(5.8%)、数量シェア(11.0%)  
栃木県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(3.2%)

## 2 東京都中央卸売市場(令和2年4月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

( )内は前年対比

野菜類の入荷量は約18.2千トン(96%)、単価は286円(134%)、金額は約52億円(128%)

果実類の入荷量は約0.9千トン(96%)、単価は775円(100%)、金額は約7億円(96%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の2015-2019年同月の5か年平均値との比率

	品目	数量(t)				単価(円/kg)				金額(千円)		
			前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比	平年比
野菜	はくさい	6,003	97	103	105	187	253	196	196	1,124,179	245	202
	ピーマン	1,199	101	98	106	658	128	132	139	788,273	129	129
	レタス類	3,555	86	78	78	221	112	106	106	785,655	96	82
	ほうれんそう	546	103	124	106	565	132	112	111	308,409	137	138
	<b>野菜総計</b>	18,164	96	94	97	286	134	124	101	5,194,206	128	116
果実	いちご類	439	96	101	90	1,099	105	115	112	482,831	102	117
	<b>果実総計</b>	942	96	96	89	775	100	108	108	730,051	96	103

### (野菜)

前月に引き続き、新型コロナウイルスの影響により外食需要や給食用需要が低迷したが、その反面、自宅消費が増加し、量販店の動きは活発であった。

3月下旬~4月は例年より冷え込む気候となったが、はくさい、レタス類は暖冬による前進傾向のため、平年より数量減となり、販売単価は平年より高く推移した。

### (果実)

新型コロナウイルスによる量販店での宣伝自粛や、各種イベントの開催中止の影響により、メロン類等の贈答用果実の販売は平年より安値傾向となった。

いちご類は、平年より他産地の数量が少なかったことにより、平年を上回る単価での販売となった。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出